

2023 年度 PTA・後援会総会によせて

2023 年 5 月 6 日

校長 平間 宏一

【ご挨拶】

2023 年度もあっという間に 1 か月が過ぎました。新型コロナウイルスへの対策の在り方が見直され、感染には十分に注意を払いながら、少しずつ元の活動ができるようになってきました。生徒たちの姿が横浜女学院の宝であること実感します。

保護者の皆様、後援会の皆様におかれましては日頃から横浜女学院の教育を理解し、ご支援を賜っておりますこと、ここに改めてお礼申し上げます。

当初は、総会を久しぶりに対面で実施することを考えておりましたが、政府の新型コロナウイルスへの対応の変更が 5 月 8 日からとなり、念のために本年度も WEB での開催とさせていただきます、各学年での保護者会を対面で行うこととさせていただきました。

新型コロナに翻弄されたこの 3 年間、教育機関が影響を受けただけでなく、社会全体が大きくなぐねりをもって変わりつつあるのを感じます。

ChatGPT をはじめとする生成 AI の登場、スーダンでの内戦、ウクライナ戦争、世界経済の大きな変動などなど。これからの時代を生きる生徒たちはいったいどのような力を身に着けるべきなのでしょう。

横浜女学院はそのような状況下にある社会に生徒たちを送り出すために、絶えず変化し続けます。同時に金子正先生から受け継いだ「愛と誠」を変えないものとして生徒に受け継ぎます。

ニーバーの祈り

神よ、

変えることのできるものについて、

それを変えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。

変えることのできないものについては、

それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ。

そして、

変えることのできるものと、変えることのできないものとを、

識別する知恵を与えたまえ。

ラインホルド・ニーバー

【学校目標】

横浜女学院の学校目標は

「神様と人に愛されている存在としての自己受容力を高め、多角的かつグローバルな視野をもち、社会貢献を果たすことのできる生徒」としています。そのために本年度は6つの領域の12の項目をあげて、それぞれの活動を評価する、ルーブリックを策定しました。

	自分	隣人	世の中
行動する	自ら行動する <ul style="list-style-type: none">●何事にもチャレンジすることができる●自らを律し、コントロールすることができる	隣人を愛する <ul style="list-style-type: none">●他者と協働することができる●他者に手を差し伸べることができる	世の中に働きかける <ul style="list-style-type: none">●「当たり前」を疑うことができる●改善策を考えることができる
知る	自らを知る <ul style="list-style-type: none">●自らを振り返ることができる●自らを大切にすることができる	隣人を知る <ul style="list-style-type: none">●多様性を尊重することができる●対話することができる	世の中を知る <ul style="list-style-type: none">●何事にも興味・関心を持つとうとする●情報を整理することができる

【国際教育】

国際教育の分野では、外務省主催によるカナダ（バンクーバー）で行われた「かけはしプロジェクト」に始まり、3月ニュージーランド研修（高2）、6月アメリカ CBU 研修（高2）、7月・8月ニュージーランド研修（高1）、9月・10月ニュージーランド研修（中3）と続きます。横浜女学院は、アメリカの2つの大学（リバティ大学：バージニア州・カリフォルニアバプテスト大学：カリフォルニア州）と提携しています。本年度、台湾にある淡江大学と提携しグローバルな視野を養う学びの機会を拡大します。

【寄付金のお願い】

本校の教育は保護者の皆様のご理解とご協力の上に成り立っています。教育内容はもちろん設備投資や教育資材への投資が必要になっています。教育の充実のために寄付のお願いを申し上げます。皆様のご支援を必要としています。重ね重ねご負担をおかけしますがご協力をよろしくごお願い申し上げます。詳しくは別途寄付金のお願いを送付させていただきます。

2023年度が充実した年となるように、明日を担う生徒たちの成長のために、横浜女学院は今年も進みます。本年度もご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。